



好事例紹介：教科の壁を越えた全員参加の校内研修（勝央中学校） 一授業改善のための組織づくりをどう行ってきたか

「お互いが思っていることをしっかり伝えることができる」、「みんなが取組を自分事と捉えることができる」ような校内研修を実現することが「授業改善」や「学びに向かう生徒の育成」につながるのだと考えました。そのために、【授業づくりの視点を揃える】【自分事となる校内研修】【気軽に話せるOJT】を大切にしながら進めています。

授業改善の視点をどうそろえたか

- ◎「生徒の課題」「学力調査の課題」からどんな生徒を育てたいのかを話し合った。
- ◎指導教諭が「目指す授業」の共有のための提案授業を行なった。
- ◎「学びのグランドデザイン」の動画を作成し、全員で視聴した。この動画はいつでも見て確認ができるようにしてある。



全員が発言します

校内研修をどう充実させたか

管理職・ミドルの思い⇒お互いが自分の思っていることをしっかり伝え合える関係があってこそ組織的な授業改善ができる

課題：【取組をどうやって自分事とするか】

①楽しみながら

活動をしなが、ワイワイ言い合いながら学べる場にする

②全員で

全ての教職員が参加できる内容。つながりを重視した進め方

③APの取組と研修内容のつながり

校内研修を行うことがAPの取組を進めることになっている。

④幅広い研究推進のメンバー

校長・教頭・主幹教諭・指導教諭・研究主任・各学年1名の研修担当（教科は5教科だけでなく実技教科担当も入っている）

⑤事前に研究推進員会

共有してほしい考え方ははっきりさせる。「楽しく、全員」をキーワードに相談

⑥勝央中「学びのグランドデザイン」

動画を作成し、1回目の研修において全員で視聴。適宜、確認視聴。



目指してる研修の姿の一番は、楽しみながら学ぶこと。事前の企画が大切です。

OJTをどのように行っているか

①ポータルサイト（Google）を活用したOJT

「語り場・連絡場」：日々の取組や困っていることなどを気軽に交流している。

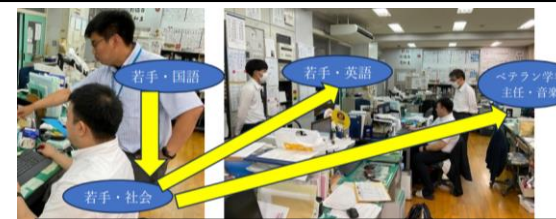
「大人の学び愛」：授業参観での気づきを書いたシートを共有し、誰もが見えるようにしている。

「Sho- Stgram」：日常の授業の様子をアップし、手軽に見合える。日常的に授業づくりについて話し合うことができている。

「学びのグランドデザイン」：動画をアップし、必要に応じて「考え方・方向性」を見直し確認している。

②職員室でのOJT

授業づくりや生徒の話を気軽に行える風土を校内リーダー（主幹教諭、指導教諭、教務主任、研究主任等）がつくる意識をもっている。



教科を問わず、若手・ベテランが気軽に相談し合います

校長先生の話

点数だけを追い求めるのではなく「目の前の子どもの成長」が喜びであり教職員の使命である。そのために必要な取組は何かと言う視点をもって、校内リーダーに伝えている。校内リーダーを信頼し責任をもたせている。



校内リーダーの話

教職員をどうやってつないでいくか、取組をどうやって自分事とさせていくかを考えて動いている。各主任に責任を持たせて任せているが、管理職や主任一人一人と話し合う時間はしっかりとっている。

